

徹底分析 令和7年度の 高校入試結果



かんどう
秋田竿燈まつり

今年度は、
日本の各都道府県の特徴を紹介しています。

東北地方『秋田県』

面積：11,638km²
人口：92万人
(人口密度) (79人/km²)
県庁所在地：秋田
主な生産物：米、ラズベリー、わかさぎ、原油、
プリズム



大湯環状列石



白神山地

CONTENTS

徹底分析 令和7年度の高校入試結果	2	高校入試ピックアップ	14
小学生のページ	12	ざつがくパラダイス	15
ガクシンニュース	13	信学会からのお知らせ	16

学びの窓

今号13ページのガクシンニュースでは、今春の本県中学卒業生の進路状況を紹介します。大まかに言うと、全日制・定時制・通信制、さらには県外の高校や各種学校等を含めると99%。ほぼ全員が進学している状況です▼では、その高校を卒業した皆さんの進路はどういう状況でしょうか。今春の公立高校卒業生(全日制・定時制計)の進路状況が、長野県教育委員会から公表されました。それによると、48.4%の人は大学に、4.7%は短期大学に進学。さらに、専門学校(海外進学者を含む)には21.5%が進学。また、次年度への再起をかけ、浪人している生徒も5.8%います。ここまでの数値を合計すると80.4%。つまり、8割の皆さんは高校を卒業しても、さらに上の学校に進んでいることになりました▼さらに先は、その大学を卒業した皆さんの状況を見ると(学校基本調査、11.74%が、大学院に進学しています。中学を卒業した皆さんから掛け合わせていくと約5.6%、20人に1人は大学院に進学し、中学校卒業後も9年間は学んでいることになります▼「学ぶこと」自体は、一生続きます。しかし、自分の将来を決める「学び」は、多くの人にとって高校3年間で大学4年間を合わせ7年間続くこととなります。高校入試は、その自分の将来設計に向けた第一歩と言えます。部活もそろそろ終了し、本格的に勉強に打ち込む時期になってきました。高校入試対策とともに、自分は将来、何をしたいのか、どういう仕事に就きたいのか。じっくり考えることも大切です。

徹底分析

令和7年度の

高校入試結果

第1区（飯山市・下水内郡・下高井郡）

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数		
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
								R5年	R6年	R7年						R5年				R6年	R7年
飯山	普通	40	12	14	14	12	1.17	13	14	2	28	23	23	23	1.00	0	0	0	35	5	36
	自然科学探究	80	48	53	53	48	1.10	1	1	5	32	15	15	15	1.00				63	17	66
	人文科学探究																				
	スポーツ科学	40	36	30	30	30	1.00	2	0	0	10	0	0	0	0.00	0	0	0	30	10	30
下高井農林	農業	80	40	28	28	28	1.00	13	1	0	52	10	10	10	1.00	0	0	0	38	42	38
	グリーンデザイン アグリサービス																				
小 計		240	136	125	125	118	1.06	29	16	7	122	48	48	48	1.00	0	0	0	166	74	170

第2区（中野市・須坂市・上高井郡）

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜									後 期 選 抜									合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数							
								R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年					
中野立志館	総合	200	120	101	101	101	1.00	21	13	0	99	62	62	62	1.00	0	0	0	163	37	167		
中野西	普通	160	80	109	109	80	1.36	27	22	29	80	67	67	67	1.00	0	0	0	147	13	150		
須坂東	普通	120	72	59	59	58	1.02	18	0	1	62	46	46	46	1.00	0	0	0	104	16	114		
須坂	普通	240									240	228	228	228	1.00	8	0	0	228	12	234		
須坂創成	農業	園芸農学	120	72	121	121	72	1.68	59	36	49	48	67	67	49	1.37	12	0	32	121	-	121	
		食品科学																					
		環境造園																					
	工業	創造工学	40	24	38	38	24	1.58	9	0	14	16	21	21	16	1.31				40	-	40	
商業	商業	80	48	103	103	48	2.15	37	23	55	32	43	43	34	1.26	82				-	82		
小 計		960	416	531	531	383	1.39	171	94	148	577	534	534	502	1.06	20	0	32	885	78	908		

第3区（長野市北部・上水内郡）

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜									後 期 選 抜									合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数							
								R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年					
北部	普通	80	40	40	40	40	1.00	2	1	0	40	13	13	13	1.00	0	0	0	53	27	55		
長野吉田	普通	240									240	284	284	244	1.16	33	22	40	244	-	244		
長野	普通	280									280	310	310	282	1.10	19	43	28	282	-	282		
長野西	普通	200									200	221	221	204	1.08	26	36	16	204	-	204		
	国際教養	40	36	29	29	29	1.00	17	11	0	11	7	7	8	0.88				37	3	37		
長野商業	商業	200	120	201	201	120	1.68	58	85	81	80	92	92	80	1.15	0	8	12	200	-	200		
	会計																						
長野東	普通	160	48	98	98	48	2.04	50	62	50	112	113	112	112	1.00	0	14	0	160	-	160		
長野工業	工業	機械工学	40	24	37	37	24	1.54	12	9	13	16	16	16	16	1.00	1	8	0	40	-	40	
		電気電子工学	40	24	29	29	24	1.21	6	6	5	16	15	15	16	0.94				40	-	40	
		物質化学	40	24	31	31	24	1.29	4	2	7	16	13	13	13	1.00				37	3	37	
		情報工学	40	24	48	48	24	2.00	23	10	24	16	17	17	16	1.06				40	-	40	
		土木工学	40	24	40	40	24	1.67	13	18	16	16	18	18	16	1.13				40	-	40	
		建築学	40	24	40	40	25	1.60	9	18	15	16	13	13	15	0.87				40	1	40	
長野西中条校	普通	40	20	18	18	18	1.00	0	12	0	22	5	5	5	1.00	0	2	0	23	17	23		
篠ノ井犀岐校	普通	40	24	11	11	11	1.00	0	0	0	29	2	2	2	1.00	0	0	0	13	27	13		
市立長野	総合	160	50	96	96	50	1.92	19	38	46	41	53	53	42	1.26	16	0	11	92	-	161		
小 計		1,680	482	718	718	461	1.56	213	272	257	1,151	1,192	1,191	1,084	1.10	95	133	107	1,545	78	1,616		

※市立長野高の入学予定者には附属中学校からの入学予定者を含む。

第4区（長野市南部・千曲市・埴科郡）

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数		
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変 更後 最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年				R6年	R7年
長野南	普通		160	64	116	116	64	1.81	64	29	52	96	104	104	98	1.06	12	0	6	162	-	162
篠ノ井	普通		240									240	236	236	236	1.00	0	13	0	236	5	240
更級農業	農業	地域園芸	120	72	122	122	72	1.69	20	23	50	48	56	56	48	1.17	0	0	8	120	-	120
		植物活用																				
		食農科学																				
松代	普通	80	48	23	23	23	1.00	0	0	0	57	24	24	24	1.00	0	0	0	47	33	53	
	商業 商業	40	24	18	18	18	1.00	10	1	0	22	14	13	13	1.00				31	9	33	
屋代	普通	240										160	172	172	163	1.06	28	0	17	163	-	243
	理数	40	28	47	47	28	1.68	13	14	19	12	20	20	12	1.67	40				-	40	
屋代南	普通	80	32	45	45	32	1.41	29	17	13	48	33	33	33	1.00	0	0	0	65	16	69	
	家庭 ライフデザイン	40	24	36	36	24	1.50	15	15	12	16	13	12	12	1.00				36	4	37	
坂城	普通		80	32	33	33	32	1.03	4	5	1	48	22	22	22	1.00	0	1	0	54	27	54
小 計			1,120	324	440	440	293	1.50	155	104	147	747	694	692	661	1.05	40	14	31	954	94	1,051
第1通学区計			4,000	1,358	1,814	1,814	1,255	1.45	568	486	559	2,597	2,468	2,465	2,295	1.07	155	147	170	3,550	324	3,745

※屋代高の入学予定者数には附属中学校からの入学予定者を含む。

皆さんの先輩が受験した「令和7年度高校入試」。実際、どのくらいの倍率で、どのくらいの不合格者がいたのか、ここでは様々な数値をもとに今春入試を振り返り、分析していきます。多くの不合格者が出て、非常に厳しい入試になった高校も多くあります。自分の志望高校では、どのような入試が行われたのか見極めながら、来春の入試に備えておきましょう。

※各校の「入学予定者数」には、再募集での入学者も含まれます。

第1通

1～4区 後期選抜不合格者は前年比23人増の170人

創成・吉田・長野・長西・長商・屋代などが二桁不合格

1区

後期選抜不合格者は3年続けての0人 第一志望には前期から積極的に挑戦

厳しい少子化と、区外への流出率が増え、2校の全学科で再募集を実施。その数も5年間では最多の74人。最終的に全学科が欠員でのスタートとなった。このうち、大学進学を目指す受験生が多く志願する「飯山・探究科」だが、最終的に14人の欠員。地元に残り、大学進学を目指すのであれば、積極的にチャレンジしたい。県下唯一のスポーツ科学科は、前期から積極的にチャレンジすることが肝要。

「下高井農林」も42人の再募集を実施した。

2区

後期不合格者は須坂創成の32人のみ 人気の須坂は2年続けて不合格者0人

中学校卒業者が昨年より36人の減少。合わせて、毎年3区を始めとする区外への流出者が多いのが2区の特徴。このため、後期選抜での不合格者は、5校中4校で0人。また、再募集は78人に達した。

中でも注目されるのが人気校の「須坂」。毎年、多くの不合格者を出しており、一昨年も8人の不合格者を出していた。それが昨春は定員ちょうどの受験生で不合格者は0人。さらに今春は、12人の再募集を実施。上位層は3区に流出した可能性が高い。

後期選抜で唯一の不合格者を出したのが「須坂創成」。農業・工業・商業の全学科で不合格者を出している。このほか、県立高校では北信で唯一の総合学科を持つ「中野立志館」は37人の再募集を実施。「中野西」は前期の人气が高く、29人不合格者を出した。「須坂東」の人气はいまひとつ。前期も募集人員に達しなかった。

3区

後期不合格者は2年続けての100人超 長野吉田40人、長野28人、長野西16人

今春入試から前期選抜の募集枠が拡大したが、前期不合格者は3年続けての200人超。後期選抜不合格者も2年続けて100人を上回るなど、厳しい入試が毎年、行われている区。私立高校受験者も多く、併願しながらの受験生も多い。

前期選抜で、最も多くの不合格者を出したのが「長野商業」で81人。前年も85人の不合格者を出している。実質倍率が2倍以上だったのは「長野東」と「長野工業」の情報工学科。ま

た、「市立長野」も実質倍率1.92倍、不合格者46人と厳しい入試になった。昨年は11人の不合格者を出していた「長野西・国際教養」の前期選抜だが、今春の受験者数は募集定員を下回った。

後期選抜の不合格者は前年より減ったものの、全体では引き続き100人を超す不合格者を出している。高校別に見ると、最も多くの不合格者を出したのは「長野吉田」で40人。それに続くのが「長野」の28人。長野吉田と長野は1年ごと交互に、不合格者数が最多になっている。それに続くのが「長野西」の16人。ただし、前述のように国際教養科は振るわず、3人の再募集を行った。また、「長野東」は定員ちょうどの受験者数。長野市内の普通科4校はいずれも、人气が高い状況にあり、3校で二桁の不合格者を出した。このほか、「長野商業」は昨年の8人不合格者が12人に増加。「長野工業」は2つの学科で再募集を実施した。昨年の不合格者が0人だった「市立長野」は、11人の不合格者を出した。

周辺の「北部」「長野西中条校」「篠ノ井犀峽校」は、いずれも厳しい少子化の影響を受けている。

4区

後期不合格者は前年比17人増の31人 屋代が最多で17人、更農の8人が続く

昨年、「異変」とも言える状況となり、8人の再募集を実施した「屋代」だったが、今春はその反動か、3人の校長裁量合格者（募集定員より多くの合格者を出すこと）を出しながらも、17人の不合格者を出す激戦りになった。また「長野南」も、前年の再募集実施から、今春は6人の不合格者を出す状況になった。逆に昨年、後期選抜での不合格者が4区の中では一番多い13人だった「篠ノ井」は、その反動で、5人の再募集を実施。4区の長野市と千曲市にある普通科高校は、どれも“振り子”のように、志願者数の増減を繰り返している状況だ。

「屋代南」は普通科・家庭科ともに、前期選抜では3年連続で、二桁の不合格者を出す。しかしながら、後期選抜では受験者が集まらず計20人の再募集を実施。一方で、「更級農業」の人气は高く、前期選抜では、前年の2倍以上となる50人の不合格者を出す。後期選抜でも4区では2番目に多い8人の不合格者を出した。

人气が薄く、大きな欠員になったのが「松代」と「坂城」。松代は普通科と商業科合わせて34人の欠員。坂城は26人の欠員スタートとなった。

第5区（上田市・東御市・小県郡）

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜									後 期 選 抜									合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数				募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数						
									R5年	R6年	R7年	R5年						R6年	R7年					
上田千曲	工業	メカニカル工学	40	24	36	36	24	1.50	19	12	12	16	13	13	16	0.81	7	6	8	40	-	40		
		電気	40	24	30	30	24	1.25	14	18	6	16	18	18	16	1.13				40	-	40		
		建築	40	24	45	45	24	1.88	16	14	21	16	17	17	16	1.06				40	-	40		
	商業	商業	40	24	47	47	24	1.96	20	26	23	16	21	21	16	1.31				40	-	40		
		生活福祉	40	24	49	48	24	2.00	29	8	24	16	18	18	16	1.13				40	-	40		
		家庭	食物栄養	40	24	45	45	24	1.88	20	26	21	16	17	17	16				1.06	40	-	40	
上田	普通		280								280	291	291	281	1.04	12	7	10	281	-	281			
上田染谷丘	普通		240								240	289	289	244	1.18	26	3	44	244	-	244			
	国際教養	40	32	48	48	32	1.50	7	26	16	8	8	8	9	0.89				41	-	41			
上田東	普通		240								240	243	243	241	1.01	5	9	2	241	-	241			
丸子修学館	総合		200	120	114	114	114	1.00	54	51	0	86	47	47	47	1.00	2	0	0	161	39	168		
小 計			1,240	296	414	413	290	1.42	179	181	123	950	982	982	918	1.07	52	25	64	1,208	39	1,215		

第6区（小諸市・佐久市・北佐久郡・南佐久郡）

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数	
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数						
									R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年				
蓼科	普通		80	40	29	29	29	1.00	1	0	0	51	8	8	8	1.00	0	0	0	37	43	39	
小諸商業	商業	商業	120	72	104	104	72	1.44	35	23	32	48	51	51	48	1.06	0	0	3	120	-	120	
		会計システム																					
小諸	普通		120	60	81	81	60	1.35	24	16	21	60	67	67	61	1.10	0	0	6	121	-	121	
	音楽		40	36	25	25	24	1.04	1	2	1	16	0	0	0	0.00	0	0	0	24	16	24	
軽井沢	普通		80	48	43	43	43	1.00	15	0	0	37	12	12	12	1.00	0	0	0	55	25	59	
佐久平総合 技術	農業	食物マネジメント	120	72	106	106	72	1.47	28	27	34	48	59	58	48	1.21	1	2	0	120	-	120	
		生物サービス																					
		食農クリエイト																					
	工業	機械システム	40	24	24	24	24	1.00	0	2	0	16	9	9	11	0.82					35	5	38
		電気情報	40	24	25	25	24	1.04	3	2	1	16	15	15	15	1.00					39	1	39
	創造実践		80	40	43	43	40	1.08	9	1	3	40	12	12	20	0.60	60	20	70				
岩村田	普通		200									200	195	195	195	1.00	30	7	0	195	5	197	
野沢北	普通		160									160	148	148	160	0.93	1	0	1	160	-	160	
	理数		40	36	48	48	36	1.33	20	0	12	4	17	17	4	4.25				40	-	40	
野沢南	普通		160									160	177	177	164	1.08	0	2	13	164	-	164	
小海	普通		80	40	35	35	35	1.00	2	0	0	45	9	9	9	1.00	0	0	0	44	36	47	
小 計			1,360	492	563	563	459	1.23	138	73	104	901	779	778	755	1.03	32	11	23	1,214	151	1,238	
第2通学区計			2,600	788	977	976	749	1.30	317	254	227	1,851	1,761	1,760	1,673	1.05	84	36	87	2,422	190	2,453	

高校の種類

みなさんが目指す「高校進学」。ひとくちに「高校」といっても様々な種類、形態が

1. 設置者による分類

- 公立（県立・市立）高校
- 私立高校
- 国立高専

第1の分類は「設置者」による違いです。3種類あり、その1つは、学校ごとにそれぞれの特色がある「公立高校」です。現在、長野県内には県立高校が78校、長野市立高校が1校の計79校が設置されています。「長野県〇〇高校」というのが県立高校です（長野県の高校は「長野県立〇〇高校」ではなく、「長野県〇〇高校」と呼ばれます。）

次が独自の建学の精神を持つ「私立高校」です。現在、県内には全日制17校、通信制12校があります。このほか、長野市には5年制の「国立長野工業高等専門学校（長野高専）」があります。

2. 形態による分類

- 全日制高校
- 定時制高校
- 多部制・単位制高校
- 通信制高校

第2の分類は「形態」です。「全日制」は中学校と同じように朝登校し、16時くらいまで授業を行います。17時から21時頃まで4時間ほど学ぶ「定時制」は、基本的に4年で卒業となりますが、一部「特別授業」を設け、3年での卒業を可能とする高校もあります。「多部制・単位制」は、午前部・午後部・夜間部の3部から自分の生活スタイルと卒業希望年数を考慮して、授業を組み合わせ受ける形です。「通信制」は、自宅で課題をこなしながら、平均週1回登校してスクーリングを受ける形です。最近では、毎日好きな時間に学校に行き学ぶ形もあります。

3. 学科による分類

- 普通科
- 職業科
 - 農業科
 - 工業科
 - 商業科
 - 家庭科
- 特色学科
 - スポーツ
 - 音楽科
 - 理数科・英語科・
- 総合学科

第3の分類は「学科」によるもまず「普通科」は中学校での学

一般教科の学習を中心に、幅広い教から大学進学まで多様な進路選択が設けられたりしています。次の「職業科」と「特色学科」が、目になっていることです。たとえば時間の授業があるとすれば、4時間う形です。1年次は一般教科が多最後の「総合学科」は多様な選ることができる学科です。英語のり、時事英語や英会話など、多彩分なりの学びができるシステムに

第2通

5区の後期不合格者は前年の25人から64人に

人気の格差が大きい6区 再募集数は全県最多

5 区 上田市内の普通科3校での不合格者
染谷が最多で44人、次が上田の10人

前期選抜の不合格者は前年を大きく下回ったが、後期選抜での不合格者は前年の25人から64人と2倍以上に。後期選抜はかなりの激戦になった。

例年、後期選抜で多くの不合格者を出す「上田」「上田染谷丘」「上田東」の、上田市内の普通科3高校。昨年は3校とも一桁の不合格者で落ち着いた入試になったが、今春は大幅に増加。「上田染谷丘」が最も多い44人の不合格者を出し、「上田」も10人の不合格者を出す。「上田東」も2人ではあるが不合格者を出した。一方、11ページでも紹介するが、5区受験生はほぼ5人に2人は上田西高校を受験している。同校の“合格通知”を手に“強気受験”をする生徒も多いと考えられる。

「上田千曲」は後期選抜での不合格者は8人で、さらに前期選抜は厳しい入試だった。中でも家庭・生活福祉科の前期選抜実質倍率は2.00倍で、第二通学区で最も高かった。

「丸子修学館」は3年続けて再募集を実施した。

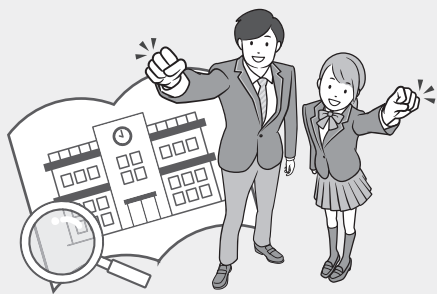
6 区 都市部校と中山間地校で人気の二極化
後期選抜の不合格者は11人から23人に

都市部にある高校と、中山間地にある高校の人気の二極化

あります。ここでは、その種類を紹介します。

科学科

探究科・学究科
国際教養科・国際観光科



のです。
びとイメージが近く、国・数・社・理・英や体育、美術といった一養を身につけます。中学卒業生の最も多くが進学する学科で、就職ができるよう、2年次から文系・理系に分かれたり、コースや系列

「普通科」と大きく異なる点は、授業の3分の1が、その学科の専門科農学科でしたら、農業に関する授業が3分の1以上あります。1日6は国・数・英などの一般教科の授業、2時間は農業に関する授業といく、3年次になると、半分以上が専門教科になる高校が多くあります。択科目が設定され、自分の学びたいことに沿って時間割を組み立て授業を例にとると、基礎から大学進学まで対応できる講座があったな授業が設定されています。そこから自分の将来の希望に向けて自なっています。

が明瞭に現れた区。後期選抜では都市部にある4校で計23人の不合格者を出す一方、中山間地校を中心に再募集を実施し、その数は151人に達した。

まず、後期選抜で最も多くの不合格者を出したのは「野沢南」。同校は4人の校長裁量合格者（定員より多くの合格者を出すこと）を出した上で、13人が不合格に。次に多いのが「小諸・普通科」で6人が不合格。一方で同校の音楽科は16人の再募集を実施した。

一昨年、昨年と無風だった「小諸商業」は3人の不合格者。また、昨年は定員に達せず、再募集を実施したのが人気校の「野沢北」。今春は1人の不合格者を出す。ただし、理数科は人気で、前期選抜では12人、後期選抜の実質倍率は4.25倍となり、第二志望で普通科に合格した生徒が多かった。

「佐久平総合技術」は学科により大きな差がある。このうち農業科の人气が高く、後期選抜受験者は58人で合格者は48人。10人は第二志望の学科に回った。また、同科は前期選抜での人気も高く、前期不合格者は前年比7人増の34人だった。

少々「異変」とも言われる状況だったのが「岩村田」。一昨年30人、昨年7人の不合格者を出していたが、今春は募集定員に達せず、5人の再募集を行う。緩やかな募集定員の策定が影響したと考えられる。

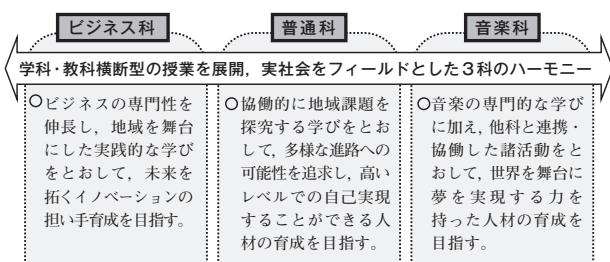
中山間地にある高校は軒並み、大きな定員割れになった。定員に達しなかった高校は再募集を実施したが、その数が最も多かったのは「蓼科」で43人。このほか、「小海」で36人、「軽井沢」で25人と続く。少子化と緩やかな募集定員の策定が背景にあるが、それぞれ特色ある教育を実施しているのも事実。特色を見極めながら挑戦したい。

来春「小諸義塾高校」が開校

小諸高校と小諸商業高校が再編統合され、来春、「小諸義塾高校」が開校します。

小諸商業高校の校地と校舎を活用しての開校。普通科3学級、ビジネス科3学級、音楽科1学級の計7学級でのスタート。また、定時制には商業科が設置されます。

統合新校の学びのイメージは下図の通り。「地域を舞台に多様性を重視し、グローバルな視点で未来を創造する、3科融合」した学校で、新たな社会や価値観を創造する人を育むことを狙いにしています。



第7区（諏訪市・茅野市・岡谷市・諏訪郡）

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年			
富士見	普通		40	24	23	23	23	1.00	0	2	0	17	15	15	17	0.88	0	0	5	40	-	40
	農業	園芸	40	24	40	39	24	1.63	10	7	15	16	23	23	16	1.44				40	-	40
茅野	普通		80	24	17	17	16	1.06	8	7	1	64	22	22	22	1.00	0	0	0	38	43	41
諏訪実業	商業	商業 会計情報	80	48	63	62	48	1.29	15	0	14	32	13	13	13	1.00	0	0	0	61	19	61
	家庭	服飾																		40	24	18
諏訪清陵	普通		240									161	176	175	162	1.08	7	11	13	162	-	241
諏訪二葉	普通		200									200	204	202	200	1.01	7	6	2	200	-	200
下諏訪向陽	普通		200	100	104	104	100	1.04	35	33	4	100	34	34	34	1.00	0	0	0	134	66	141
岡谷東	普通		120	72	132	132	72	1.83	52	78	60	48	53	52	48	1.08	0	10	4	120	-	120
岡谷南	普通		160									160	179	179	162	1.10	10	0	17	162	-	162
岡谷工業	工業	機械	160	96	30	30	24	1.25	2	4	6	64	7	7	7	1.00	0	0	0	31	20	32
		電気			29	29	21	1.38	0	6	8		10	10	10	1.00				31		31
		環境化学			14	14	8	1.75	0	9	6		11	11	11	1.00				19		20
		電子機械			26	26	19	1.37	0	9	7		7	7	7	1.00				26		27
		情報技術			27	27	24	1.13	0	16	3		9	9	9	1.00				33		33
					小 計	1,360	412	523	521	397	1.31		130	177	124	884				765		761

※諏訪清陵の入学予定者数には、附属中学校からの進学予定者を含む。

第8区（伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡）

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年			
辰野	普通		80	48	67	67	48	1.40	19	19	19	32	38	38	33	1.15				81	-	81
	商業	商業	40	24	28	28	24	1.17	9	2	4	16	10	10	15	0.67	0	0	0	39	1	39
上伊那農業	農業	生物生産	160	96	174	174	96	1.81	60	67	78	64	73	73	66	1.11	6	6	7	162	-	162
		生命探究																				
		アグリデザイン																				
		コミュニティデザイン																				
高遠	普通		80	48	67	67	48	1.40	22	15	19	32	31	31	31	1.00	0	0	0	79	2	80
伊那北	普通		200									200	202	202	202	1.00	6	0	6	202	-	202
	理数		40	36	43	43	36	1.19	10	6	7	4	10	10	4	2.50				40	-	40
伊那弥生ヶ丘	普通		200									200	204	204	200	1.02	7	0	4	200	-	200
赤穂	普通		120									120	114	114	114	1.00	6	0	0	114	6	117
	商業	商業		80	48	93	93	49	1.90	41	39	44	32	31	31	31				1.00	80	1
駒ヶ根工業	工業	機械	120	72	92	92	72	1.28	9	0	20	48	40	40	40	1.00	0	0	0	112	8	116
		電気																				
		情報技術																				
小 計			1,120	372	564	564	373	1.51	170	148	191	748	753	753	736	1.02	25	6	17	1,109	18	1,117

第9区（飯田市・下伊那郡）

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数	
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数						
								R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年				
松川	普通	80	40	54	54	40	1.35	29	35	14	40	40	40	40	1.00	2	4	0	80	-	80	
飯田	普通	200									200	208	208	202	1.03	7	2	10	202	-	202	
	理数	40	28	30	30	28	1.07	13	12	2	12	16	16	12	1.33				40	-	40	
飯田風越	普通	160									160	134	134	134	1.00	13	0	0	134	26	145	
	国際教養	40	36	42	42	36	1.17	0	4	6	4	2	2	2	1.00				38	2	38	
飯田OIDE 長姫	工業	機械工学	40	24	38	38	24	1.58	6	3	14	16	17	17	16	1.06	3	2	7	40	-	40
		電子機械工学	40	24	21	21	21	1.00	15	7	0	19	18	18	19	0.95				40	-	40
		電気電子工学	40	24	44	44	24	1.83	11	14	20	16	19	19	16	1.19				40	-	40
		社会基盤工学	40	24	41	41	24	1.71	18	16	17	16	18	18	16	1.13				40	-	40
		建築学	40	24	44	44	24	1.83	11	24	20	16	19	19	16	1.19				40	-	40
	商業	商業	80	48	77	77	48	1.60	25	5	29	32	31	31	32	0.97	80	-	80			
下伊那農業	農業	栽培科学	40	24	39	39	24	1.63	56	55	15	16	14	14	15	0.93	1	0	0	39	1	39
		地域資源	40	24	52	52	25	2.08			27	16	17	17	16	1.06				41	-	41
		生物活用	40	24	32	32	25	1.28			7	16	16	16	16	1.00				41	-	41
阿智	普通	80	32	50	50	32	1.56	7	13	18	48	47	47	47	1.00	0	0	0	79	1	79	
阿南	普通	80	32	18	18	18	1.00	0	0	0	62	18	18	18	1.00	0	0	0	36	44	40	
小 計		1,080	408	582	582	393	1.48	191	188	189	689	634	634	617	1.03	26	8	17	1,010	74	1,025	
第3通学区計		3,560	1,192	1,669	1,667	1,163	1.43	491	513	504	2,321	2,152	2,148	2,073	1.04	75	41	75	3,236	260	3,353	

※茅野と阿智の再募集人数は、合格者総数の中に「特別配慮」の合格者が含まれるため、募集人員より多くなっている。

第3通

全ての区で後期選抜不合格者が前年より増加

岡南・清陵・飯田で二桁の後期選抜不合格者

7区 不合格者と再募集 人気の格差が出現
諏訪清陵と岡谷南は二桁の不合格

後期選抜で不合格者を出した高校が5校。一方、定員に達せず再募集を実施した高校が4校。加えて、その4校は全て二桁の再募集。不合格者を出す高校と、大量の再募集を実施する高校と、人気の格差が大きく出る入試になった。

後期選抜で不合格者を出した5校のうち、最も多かったのは「岡谷南」の17人。次が「諏訪清陵」の13人。諏訪清陵は人気が高く、3年続けて多くの不合格者を出している。

昨年10人の不合格者を出した「岡谷東」だが、今春は4人に減少。ただし、前期選抜の人気は高く、実質倍率1.83倍は7区では最高倍率になっている。

このほか、「諏訪二葉」は2人の不合格者。毎年、不合格者を出す人気だ。また、「富士見」は農業科の人気が高く、前期選抜では、昨年の2倍にあたる15人が不合格に、後期選抜では、第二志望で普通科に回ること、全体では5人の不合格者を出した。

募集定員に達しないで再募集を実施した高校に目を転じると、最も多いのは「下諏訪向陽」の66人、次が「茅野」の43人。「諏訪実業」は商業科19人、家庭科20人の計39人の再募集を行う。ただし、同校商業科は前期選抜では前年より人気が高かった。「岡谷工業」は前期選抜では多くの不合格者を出す、後期選抜の不合格者はゼロ。最終的に再募集を実施した。

8区 前期選抜の人気が高く、191人が不合格に
後期選抜での不合格は上農、弥生と伊那北

緩やかな募集定員の策定もあり、後期選抜で不合格者を出したのは全7校中3校。逆に定員に達しないで再募集を実施した高校が4校という状況だった。一方、前期選抜を志願する生徒は多く、前期選抜実施校の実質倍率は1.51倍と、第3通学区では最高倍率になっている。

前期選抜の最高倍率は「赤穂」の商業科で1.90倍。前年比5人増の不合格者を出した。一方、後期選抜では志願者が集まらず、最終的に同校では普通科・商業科両科で7人の再募集を実施した。

前期選抜・後期選抜ともに最多の不合格者を出したのが「上伊那農業」。前期選抜では前年より11人多い78人が、後期選抜では8区では最多の7人の不合格者を出した。また、「伊那弥生ヶ丘」は後期選抜で4人の不合格者を出した。

8区の中の大学進学校で人気が高い「伊那北」だが、普通科は2人の校長裁量合格者を出している。一方、理数科は人気が高く6人の不合格者を出した。

残る3校は落ち着いた入試になった。

「辰野」は商業科で1人の再募集を実施する。例年、多くの再募集を実施する「高遠」だが、今春は2人のみ。「駒ヶ根工業」は8人の再募集を実施するが、前期選抜の不合格者は前年の

0人から20人に大幅に増加した。



伊那北高校

9区 最多の不合格は飯田の10人、OIDEの7人が続く
人気校の飯田風越は前年7人、今年28人の再募集

中学卒業生の前年比60人減を受け、下伊那農業を1学級減らした。しかし、それでも緩やかな募集定員であり、結果的に後期選抜の不合格者は17人。再募集は4校で74人になった。

最も再募集人数が多かったのは「阿南」の44人。再募集合格者を加え、入学予定者は40人にとどまった。他の中山間地存立校の状況を見ると、「松川」は、前期選抜の実質倍率は下がったが、最終的に定員と同数でのスタート。「阿智」は再募集1人で、最終的に欠員1人でのスタートだが、前期選抜の人気は急上昇している。

都市部存立普通科高校の「飯田」と「飯田風越」は真逆の結果に。「飯田」は、2人の校長裁量合格者を出しながら、10人の不合格者を出す。一方の「飯田風越」は普通科と国際教養科を合わせて28人の再募集を実施する。ただし、飯田風越の国際教養科の前期選抜は、実質倍率が上昇している。

都市部存立の職業科の「飯田OIDE長姫」は7人の不合格者を出す。特に商業科の前期選抜での不合格者29人は、実数では9区の最多。「下伊那農業」の地域資源科の前期選抜の実質倍率は2.08倍。第三通学区の前期選抜では唯一、2倍を上回った。栽培科学科だけが1人の再募集を実施した。



飯田高校

第10区(木曽郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数	
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数						
								R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年				
蘇南	総合	80	48	19	19	19	1.00	0	0	0	61	3	3	3	1.00	0	0	0	22	58	22	
木曽青峰	普通	40									40	28	28	28	1.00	0	0	0	28	12	28	
	農業	森林環境	40	24	32	32	24	1.33	0	0	8	16	9	9	9				1.00	33	7	33
	工業	インテリア	40	24	21	21	21	1.00	0	0	0	19	3	3	3				1.00	24	16	24
	理数		40	30	21	21	21	1.00	0	0	0	19	1	1	1				1.00	22	18	22
小 計		240	126	93	93	85	1.09	0	0	8	155	44	44	44	1.00	0	0	0	129	111	129	

第11区(松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡)

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数		
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年				R6年	R7年
塩尻志学館	総合		200	120	179	178	120	1.48	64	89	58	80	68	68	68	1.00	0	22	0	188	12	191
田川	普通		160	96	81	81	81	1.00	52	43	0	79	43	40	40	1.00	2	1	0	121	40	121
梓川	普通		120	72	95	95	72	1.32	20	14	23	48	30	30	30	1.00	0	0	0	102	18	102
松本工業	工業	機械	80	48	50	50	48	1.04	17	31	2	32	19	19	19	1.00	0	1	0	67	13	67
		電気	40	24	31	31	24	1.29	10	9	7	16	13	13	13	1.00				37	3	38
		電子工業	80	48	53	53	48	1.10	29	16	5	32	11	11	11	1.00				59	21	61
松本県ヶ丘	普通	240										240	276	276	245	1.13	30	24	52	245	-	245
	自然探究	80	64	109	109	64	1.70	44	70	45	16	39	39	18	2.17	82				-	82	
	国際探究																					
松本美須ヶ丘	普通		280									280	309	306	280	1.09	31	36	26	280	-	280
松本深志	普通		280									280	322	322	284	1.13	36	25	38	284	-	284
松本蟻ヶ崎	普通		280									280	332	332	280	1.19	49	49	52	280	-	280
明科	普通		80	40	48	48	40	1.20	0	16	8	40	24	23	23	1.00	0	0	0	63	17	63
豊科	普通		200									200	189	188	188	1.00	12	0	0	188	12	191
南安曇農業	農業	グリーンサイエンス	40	24	42	42	24	1.75	17	22	18	16	14	14	15	0.93	0	3	0	39	1	39
		環境クリエイト	40	24	34	34	25	1.36	0	14	9	16	9	9	11	0.82				36	5	36
		生物工学	40	24	44	44	25	1.76	14	15	19	16	19	19	16	1.19				41	-	41
穂高商業	商業	商業	80	48	70	70	50	1.40	29	9	20	32	27	26	26	1.00	1	0	0	76	6	76
		情報マネジメント																				
小 計			2,320	632	836	835	621	1.34	296	348	214	1,703	1,744	1,735	1,567	1.11	161	161	168	2,188	148	2,200

第12区(大町市・北安曇郡)

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数		
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年			
池田工業	工業	機械・電気学	80	40	40	40	1.00	4	0	0	40	5	5	5	1.00	0	0	0	45	35	45	
		建築学																				
大町岳陽	普通		120	48	70	70	48	1.46	35	51	22	72	45	45	45	1.00	1	1	0	93	27	93
	学究		80	56	43	43	43	1.00	18	5	0	37	7	7	7	1.00				50	30	53
白馬	普通		40	20	23	23	20	1.15	0	0	3	20	10	10	10	1.00	0	0	3	30	11	30
	国際観光		40	30	48	48	30	1.60	3	12	18	10	14	14	11	1.27				41	-	41
小 計			360	194	224	224	181	1.24	60	68	43	179	81	81	78	1.04	1	1	3	259	103	262
第4通学区計			2,920	952	1,153	1,152	887	1.30	356	416	265	2,037	1,869	1,860	1,689	1.10	162	162	171	2,576	362	2,591



第4通

11 区は全県で最も多い後期選抜での不合格者

10 区と12区は厳しい少子化で、100人超す再募集

10 区 2校の全学科が定員以下の入学者
厳しい少子化が進む地域

厳しい少子化が進む地域。2校の総募集定員240人に対し入学予定者は129人。充足率は54%という低さ。一方で、来春からは木曽青峰の農業科(森林環境科)は全国募集になることから、同科の人気は高まると予想される。

幅広く学べ、自分の進路を考えることができる総合学科を設置する「蘇南」。募集定員80人に対し、前期選抜で19人、後期選抜で3人の計22人が合格・入学する。

「木曽青峰」は160人の定員に対し107人の入学予定者。地域にあるが、大学等への進路を保障する理数科。さらに地域の産業を支える農業・森林環境科と工業・インテリア科も魅力的。多様な志願者を受け入れる学校である。

11 区 松本市内の普通科4校の後期不合格者は全て二桁
蟻ヶ崎と県陵が最多でともに52人、深志は38人

私立高校との併願者が多いことから例年、最も後期選抜不合格者が多い区。今春も県下最多となる168人の不合格者を出す。一方、その私立高校受験者だが、併願受験から専願受験に変化しているのが実状。その結果、再募集数はこの5年間で最も多い148人になった。また、松本市内の普通科高校と、中山間地校・職業科高校との、人気の二極化も出現した。

後期選抜では、松本市内の普通科高校4校で二桁の不合格者を出す。最も多かったのは、52人の不合格者を出した「松本蟻ヶ崎」。同校はこれで4年続けて最も多い不合格者を出す。同様に52人の不合格者を出したのが「松本県ヶ丘」。普通科と探究科を合わせての数だが、特に探究科の人气が高くなっている。次に38人の「松本深志」。そして、「松本美須ヶ丘」の26人が続く。

一方、松本市以外の都市部存立普通科高校は、人気薄の状況にある。「田川」は前期選抜から募集人員に達せず、40人の再募集を実施。「豊科」は、一昨年は後期選抜で12人の不合格

者を出したが、逆に昨年度は2人、今春は12人の再募集を実施した。

中山間地存立の普通科高校は2校とも、厳しい状況だった。「梓川」は18人、「明科」は17人の再募集を行う。ともにここ数年、再募集が続いている。ただし、梓川の前期選抜不合格者は前年を上回る数になっている。

総合学科の本県第1号である「塩尻志学館」。昨年は、人气が急上昇し22人の不合格者を出したが、今春は12人の再募集を実施。前期選抜から受験者が減少した。

次に職業科の状況。

公立では中信地区唯一の商業科である「穂高商業」は、欠員4人でのスタート。前期選抜の受験生は増えたものの、後期選抜の志願者が増えなかった。

「松本工業」は、3学科合わせて37人の再募集を行う。昨年も27人の再募集。前期選抜から志願者を減らしている。「南安曇農業」は生物工学科が、1人の校長裁量合格者を出して、定員より1人多い41人でスタートするが、他の学科は再募集を行った。

12 区 厳しい少子化で大町岳陽は57人の再募集
白馬・国際観光科だけが定員を満たす

12区も厳しい少子化が進む地域。後期選抜の不合格者は白馬・国際観光科の3人だけで、再募集は103人に達した。

「池田工業」は一昨年28人、昨春29人、そして今春は35人の再募集を行う。前期選抜も2年続けて不合格者が0人。第一志望であるならば、前期から積極的にチャレンジしたい。

「大町岳陽」は厳しい少子化が直撃した形。大学進学を目指す生徒を対象とする学究科だが、前期選抜から募集人員以下の志願者。こちらも区内で大学進学を目指すのであれば、積極的に挑戦したい。

「白馬」は国際観光の人气が高まった。前期選抜では18人、後期選抜でも普通科と合わせて3人の不合格者を出す。



松本深志高校



松本県ヶ丘高校



松本蟻ヶ崎高校

定時制

高 校	学 科		募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募集 合格者 数	入学 予定 者数		
				募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
									R5年	R6年	R7年						R5年				R6年	R7年
中野立志館	普通		40	12	7	7	7	1.00	0	0	0	33	1	1	1	1.00	0	0	0	8	0	8
長野吉田	普通		40									40	8	8	8	1.00	1	0	0	8	0	8
長野	普通		40	20	10	10	10	1.00	0	0	0	30	2	2	2	1.00	0	0	0	12	0	12
長野商業	普通		40	20	6	6	6	1.00	0	0	0	34	8	8	8	1.00	0	0	0	14	1	15
長野工業	工業	基礎工学	40	4	0	0	0		0	0	0	40	5	5	5	1.00	0	0	0	5	0	5
		建築	40	4	0	0	0		0	0	0	40	4	4	4	1.00				4	0	4
篠ノ井	普通		40									40	14	14	14	1.00	0	0	0	14	1	15
上田千曲	工業	機械	40									40	2	2	2	1.00	0	0	0	2	0	2
上田	普通		40	20	24	24	20	1.20	3	0	4	20	9	9	8	1.13	2	0	1	28	0	28
小諸商業	商業	商業	40									40	9	9	9	1.00	0	0	0	9	0	9
野沢南	普通		40									40	14	14	14	1.00	0	0	0	14	0	14
諏訪実業	普通		40	10	0	0	0		0	0	0	40	9	9	9	1.00	0	0	0	9	0	9
赤穂	普通		40									40	11	11	11	1.00	0	0	0	11	1	12
飯田ODE長姫	普通		80									80	36	34	34	1.00	0	0	0	34	2	36
木曽青峰	普通		40	8	2	2	2	1.00	0	0	0	38	2	2	2	1.00	0	0	0	4	0	4
池田工業	普通		40	8	5	5	5	1.00	0	0	0	35	0	0	0	0.00	0	0	0	5	0	5
合 計			680	106	54	54	50	1.08	3	0	4	630	134	132	131	1.01	3	0	1	181	5	186

多部制・単位制

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜									後 期 選 抜									合格 者総 数	再募集 合格者 数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数							
								R5年	R6年	R7年						R5年	R6年	R7年					
東御清翔	普通・午前部	120	72	78	78	72	1.08	26	17	6	48	21	21	21	1.00	1	0	0	93	0	93		
	普通・午後部																						
箕輪進修	普通・Ⅰ部	80	20	30	30	20	1.50	1	0	10	43	22	22	21	1.05	0	0	1	58	1	59		
	普通・Ⅱ部		20	19	18	17	1.06	5	3	1													
	普通・Ⅲ部	40	20	5	5	5	1.00	0	0	0	35	4	3	3	1.00	0	0	0	8	0	8		
	工業・Ⅰ部	40	20	14	14	14	1.00	0	0	0	26	5	5	5	1.00	0	0	0	19	1	20		
松本筑摩	普通・午前部	120	80	83	83	80	1.04	10	14	3	41	10	9	9	1.00	0	0	0	90	1	92		
	普通・午後部																						
	普通・夜間部	40									39	1	1	1	1.00	0	0	0					
合 計			440	232	229	228	208	1.10	42	34	20	232	63	61	60	1.02	1	0	1	268	4	272	

私立高校入学者の通学区別内訳

区	高 校 名	募集 定員	1 区		2 区		3 区		4 区		5 区		6 区		7 区		8 区		9 区		10 区		11 区		12 区	
			志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者	志願 者	入学 者
3	長野清泉	180	1	0	10	2	74	43	19	14	3	2	2	2												
	文化学園長野	210	5	2	60	10	614	113	354	55	1	0	1	1									3	3	3	1
	長野日大	305	21	13	65	34	454	234	112	51	13	7	11	8	2	2	3	3	4	4			7	6	6	4
4	長野俊英	220	1	1	13	6	148	61	221	88	47	15	6	4	1	1	2	2	1	1			9	6		
5	上 田 西	290			2	1	13	6	216	53	622	192	66	15	6	6	3	3	4	4			1	0	1	1
6	佐久長聖	315	1	0	5	3	17	8	15	10	97	19	452	155	1	0	4	4	6	6			17	11		
7	東海大諏訪	305					3	3	3	3	4	4	2	2	361	165	60	27	12	10	4	4	27	20	2	2
8	伊 那 西	170													1	1	118	118	5	5						
9	飯田女子	210							1	0							8	5	178	129						
11	東京都市大塩尻	255			3	2					1	1			395	33	331	26	10	8	17	3	1,073	207	2	1
	松商学園	420			7	7	5	4	4	4	4	4	9	6	26	17	15	9	11	10	6	4	946	347	77	32
	松本国際	190	1	1	2	2	5	3			3	3	6	4	22	13	27	13	1	1	3	2	418	100	4	1
	松本第一	195			2	1	4	4	3	1	5	5			11	10	14	12	2	2	1	1	420	166	18	8
	エクセラン	120					2	2	1	1					7	7	3	3	1	1	3	3	101	72	6	6
	日本ウェルネス長野	30			3	3	1	0							2	2	2	2					3	3		
合 計		3,415	30	17	172	71	1,340	481	949	280	800	252	555	197	835	257	590	227	235	181	34	17	3,025	941	119	56
私立高校志願率			17.9(11.1)		17.2(18.2)		57.4(61.1)		55.4(51.1)		50.5(47.6)		31.1(31.5)		51.7(46.3)		35.0(33.5)		17.2(16.6)		17.9(17.4)		81.9(77.7)		28.3(24.9)	
私立高校進学率			10.1(3.8)		7.1(7.1)		20.6(20.6)		16.3(14.9)		15.9(12.4)		12.4(12.5)		15.9(14.1)		13.5(13.5)		13.2(12.1)		8.9(9.0)		25.5(23.7)		13.3(10.1)	

**定時制
多部制・単位制****多部制・単位制は3校とも定員を下回る****定員内不合格者は大幅に減少し、2人に**

昨春は久々に200人を超えた定時制(中心校)入学生だが、今春は再び減少。186人で200人を切る状況になった。さらに多部制・単位制と合わせた人数は過去最少に。生徒層と同じにする通信制高校へ流れた可能性が高い。

高校別に見ていくと、前期選抜で最も多い志願者を集めたのは「上田」で、募集定員20人に対し24人が志願。4人が不合格になった。前期選抜で不合格を出したのは同校のみ。後期選抜では80人募集の「飯田OIDE長姫」の受験者が最多で、34人全員が合格した。また、後期選抜での不合格者は「上田」の1人だけだが、これは、定員内不合格。現在、県立高校では不登校等を理由に不合格にすることはほとんどないだけに、基本的な生活習慣の欠如や生徒指導で問題がある生徒と考えられる。これらの結果、定時制全15校のうち、二桁の合格者がいたのは半数の7校に留まった。

多部制・単位制は、3校の全学科が定員を割り込む入学者数になった。午前部と午後部だけの「東御清翔」は前期選抜の募集枠が拡大したこともあり、前期選抜の不合格者は前年の17人から6人に減少。後期選抜でも志願者は集まらず、最終的に27人の欠員でスタート。

「箕輪進修」は普通科のⅠ・Ⅱ部の前期選抜で不合格者を出したが、後期では志願者が集まらず、定員内不合格者1人を出しながら、欠員でのスタート。また、本県の実験・単位制高校の第一号である「松本筑摩」は、前年より17人少ない入学予定者でのスタートになった。

私立高校**中学卒業生の半数は私立高校を志願****15校中6校が充足率100%を超える**

私立高校については、前号の『ガクシンニュース』で全体の概要を紹介している。ここでは高校別に分析していく。

東北信唯一の女子高校である「長野清泉」。令和4年度からの3年間は充足率50%台で推移していた。今春入学者は、系列の附属中からの入学者も合わせて66人。大きく減少した。

東北信では最多となる1,050人の志願者を集めたのが「文化学園長野」。一方で入学者は190人で、充足率は90.5%。入学者の志願者に対する割合“入学率”は18.1%で、全県で最も低い割合。逆に言えば、併願者の割合が高くなっている。

総入学者376人で充足率123.3%の「長野日大」は、少々“取り過ぎた”形。それだけ安定した人気がある。第一志望校ならば、推薦入試から積極的にチャレンジしたい。

特色ある教育を実施し、全県から入学者を集めている「長野俊英」。今春もほぼ全県から入学者を集め、充足率86.8%でスタート。

東信地区の2校は安定した人気。昨年は充足率が100%を切った「上田西」だが、今春は再び定員を満した。また、5区の同校志願者は622人いるが、これは5区の中学卒業生の39.2%にあたる。5区の5人に2人近くは上田西を志願している状況。

令和5年度までは充足率100%を超えていた「佐久長聖」。昨年、久々に100%を切り、今春も90.2%の充足率。県外からの入学者が68人で、全体の4分の1近く占めるというのも、同校の特色である。

「東海大諏訪」は地元7区からの志願者が前年の383人から361人に減ったが、充足率は95.7%で、安定した人気を保つ。県外からの入学者が52人で、佐久長聖に次ぐ多さになっている。

南信地区にある2つの女子高校はいずれも、充足率が前年より下がった。「伊那西」は前年の93.4%から75.3%に、「飯田女子」は70.7%から63.8%へ低下。ともに地域に根ざした高校で、地元からの入学生がほとんどを占める。

11区の6校は安定した人気だが、“取り過ぎ”の学校も見られる。校舎の教室数等の関係から、次年度の対応が注目される。

志願者数が全県最多となる1,864人の「東京都市大塩尻」。今春の充足率は121.2%で、明らかな“取り過ぎ”。来年はボーダーラインを上げる可能性が高い。都市大塩尻と同様に、千人を超す志願者を集めるのが「松商学園」。充足率は常に100%超で、安定した人気を保っているが今春は、同校も“取り過ぎ”感が強い。

2年続けて充足率が110%を超えていた「松本国際」。今春はボーダーラインを上げたためか、充足率は100.5%になった。一方、「松本第一」は、逆に昨年の充足率が低かったことから多くの合格者を出した結果、113.8%の充足率になった。

美術科や福祉科を設置し、さらに普通科でも独自のコースを設定する「エクセラン」。今春は若干、入学者が減少した。開校5年目の「日本ウェルネス長野」。昨年は入学者が大幅に増えたが、今春は減少した。

県外 志願者	入学者	志願者数	入学者数	充足率				
				7年度	6年度	5年度	4年度	3年度
3	3	112	66	36.7	54.9	53.8	57.9	49.2
9	5	1,050	190	90.5	79.5	86.2	100.5	94.3
12	10	710	376	123.3	105.2	104.9	128.9	90.8
7	6	456	191	86.8	81.8	100.0	75.5	93.0
20	17	954	298	102.8	94.8	101.7	95.2	99.6
90	68	705	284	90.2	97.2	105.0	111.3	103.1
53	52	531	292	95.7	95.4	106.6	83.6	121.0
4	4	128	128	75.3	93.4	61.1	73.7	89.7
		187	134	63.8	70.7	100.0	85.6	81.9
32	28	1,864	309	121.2	102.4	97.3	103.1	117.6
43	39	1,153	483	115.0	103.1	108.3	111.0	102.4
51	48	543	191	100.5	119.5	115.3	107.4	110.5
13	12	493	222	113.8	95.4	111.8	106.2	113.8
3	1	127	96	80.0	95.8	97.5	95.8	96.7
		11	10	33.3	143.3	80.0	46.7	40.0
340	293	9,024	3,270	95.8	93.3	96.8	96.2	97.5

全県平均志願率	51.4(49.8)
全県平均進学率	18.6(17.6)

()内は昨年度

小学生のページ

個性, 学力, 体力を着実に伸ばす
中高一貫教育校の魅力

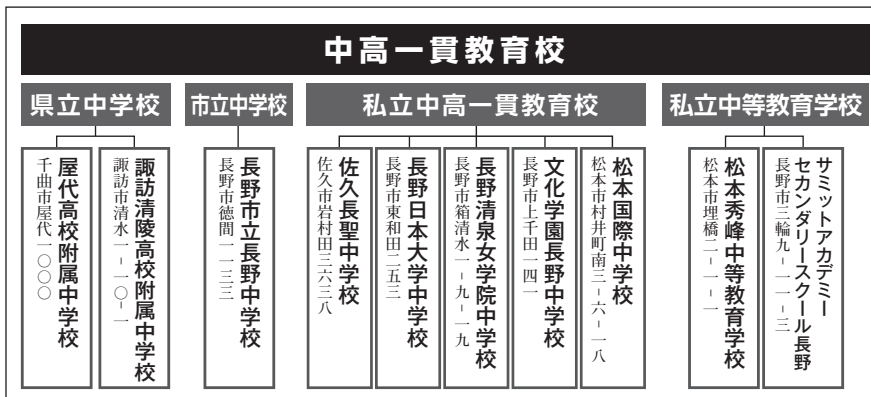
佐久長聖中学校



佐久長聖高校

中高一貫教育校の最大の特徴は、高校入試がないことです。このため、“ゆとり”が生まれ、6年先を意識した指導がされています。生徒の皆さんも、高校入試のプレッシャーを感じることなく、自分の将来を見据えた学びができます。難関大学を目指すのであれば、学力をしっかり伸ばすことができ、また、スポーツでも芸術でも、自分の個性をゆっくり・じっくり伸ばすことができます。このような中高一貫教育校の魅力を具体的に探っていきます。

前号では中学校の種類として、多くの人が通う3年制の中学校と、中高一貫教育校があることを紹介しました。今回はさらに、中高一貫教育校の魅力を、県下で最初の中高一貫教育校である「佐久長聖中学・高校」を例に紹介します。

中学1年生
個性が集う教室

佐久長聖中学・高校のカリキュラムを右下の図に示しました。図をもとに、中高一貫教育の仕組みを見ていきましょう。

まずは、中学1年生の学びです。ここでは、どの生徒も共通の授業を受けます。勉強を頑張りたい人もいれば、スポーツを頑張りたい人、さらには文化・芸術活動を頑張りたい人。色々な個性あふれる仲間がいて、お互いの個性を認め合い・尊重し合い、刺激し合っています。まさに、東大や難関の医学部を目指す生徒と、スポーツや芸術活動で世界を目指す生徒が、隣同士の席で高め合っている形です。授業は一日7時間。さらに8時間目には、勉強を頑張りたい人のために「プラスの学習」を設定。実践力を高める授業や、特別講座を行っています。また、スポーツを頑張りたい人は、4時からクラブ活動に取り組みます。

中学2・3年生
学習進度に応じた教室

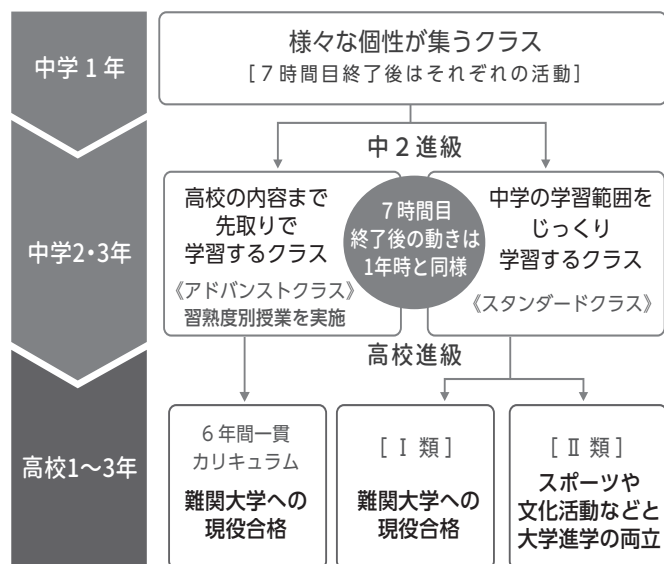
2年生になると、より自分に合った学びができるように、「高校の内容まで先取りで学習するクラス」と「中学の学習範囲をじっくり学習するクラス」の2クラスに分かれての授業になります。さらに、「高校の内容まで先取りで学習するクラス」では、英語と数学については習熟度別で授業が行われます。学力の定着度合いに応じた選抜講座を設け、プラスアルファの教材を使用したり、特別講師による授業を行うなどして、知的好奇心を刺激していきます。

高校1～3年生
目標実現に向けた教室

先取り学習を進めたクラスは、そのままのクラスで高校に進級し、同じ仲間たちと、高校3年間を過ごしていきます。高校2年次からは、文系と理系に分かれた習熟度別授業となり、最難関大学を目指していきます。

中学範囲をじっくり学習してきたクラスの生徒は、難関大学への現役合格を目指す『I類』か、スポーツや文化活動と大学進学のための学習との両立を目指す『II類』のどちらかに進級することになります。いずれも公立中学校から入学してきた生徒たちとともに、切磋琢磨していくことになります。

佐久長聖中学・高等学校の個性に応じたカリキュラム



高校入試のホットな情報満載

ガクシンニュース

編集・発行
ガクシン編集部

今春の入試結果

さらに進んだ多様な進路形態
私立高校への進学率が最高に

今春の高校入試結果が、ほぼ出揃いました。長野県教育委員会が公表した、様々な進路状況結果から、今春入試を総括していきます。

下の表Ⅰには、今春の県下中学卒業生の進路状況を種別に示しました。

最も進学者が多い「全日制公立高校」への進学率について、平成28年度からの10年間の推移を見れば、今回の69・13％は2年続けて70％を切り、過去最低になっています。一方で、県内「私立高校」への進学率は過去最高に。私立高校の授業料が無償化されたことから、公立と私立の「垣根」がなくなったと考えられます。今まで、「学費の面でちょっと」と躊躇（ちゅうちょ）していた保護者や受験生も、積極的に私立高校の受験・進学を選んでいると推測されます。

くなり、91・3％。過去2番目に低い値になっています。「特色学科」と「総合学科」の充足率も最低です。いずれも高校によって人気の格差が大きく、充足率が低下したと推測されます。このほか、「定時制」も最低になっています。

表Ⅰに戻ります。

公立高校への進学率が年々下がっているわけですが、表Ⅱには課程・学科別の充足率推移を示しました。充足率とは募集定員に対する入学者の割合のこと。たとえば、募集定員1000人で入学者が90人なら、充足率は90％になります。

最も入学生が多い「普通科」の充足率は94・0％ですが、これは過去最低になっています。その要因の一つに、中山間地にある高校の充足率の低さがあります。

他の学科を見れば、職業科では「家庭科」の充足率が過去10年間で最低になっています。また、「工業科」も以前のように90％台の後半、ということはない

公立高校と私立高校進学者以外の状況を見れば、ここ数年、過去最高を更新していた「私立通信制高校」進学率。過去最高値だった前年の5・24％から、今回は4・98％に低下。しかし、「公立通信制高校」進学率は過去最高になっています。公立と私立の合計値は5・64％。中学卒業生の20人に1人以上は、通信制高校に進学する、という状況が続いています。

このほか、県外高校への進学率が過去最高になっていることも分かります。県外高校には、その高校ならではの特色があることは否定しませんが、長野県の高校もしっかり生徒の個性を伸ばしています。県内の高校の特色も調べてみましょう。

表Ⅰ 中学卒業後の進路状況

進路	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
全日制公立高校	実数(人) 15,511 割合(%) 75.32	15,389 74.15	14,893 73.59	14,470 73.71	13,818 72.43	13,278 71.53	13,390 71.11	13,197 70.76	12,776 69.94	12,140 69.13
県立定時制高校	実数(人) 573 割合(%) 2.78	582 2.80	569 2.81	560 2.85	559 2.93	472 2.54	524 2.78	480 2.57	506 2.77	457 2.60
私立高校	実数(人) 3,511 割合(%) 17.05	3,601 17.35	3,578 17.68	3,390 17.27	3,404 17.84	3,425 18.45	3,385 17.98	3,388 18.17	3,215 17.60	3,270 18.62
県外高校	実数(人) 389 割合(%) 1.89	423 2.04	432 2.13	398 2.03	429 2.25	380 2.05	372 1.98	416 2.23	434 2.38	426 2.43
特別支援学校高等部	実数(人) 169 割合(%) 0.82	198 0.95	166 0.82	181 0.92	158 0.83	178 0.96	174 0.92	150 0.80	191 1.05	162 0.92
公立通信制高校	実数(人) 25 割合(%) 0.12	34 0.16	54 0.27	42 0.21	57 0.30	87 0.47	75 0.40	82 0.44	96 0.53	116 0.66
私立通信制高校	実数(人) 253 割合(%) 1.23	347 1.67	376 1.86	435 2.22	503 2.64	559 3.01	669 3.55	789 4.23	957 5.24	874 4.98
その他進学	実数(人) 145 割合(%) 0.70	130 0.63	130 0.64	152 0.77	161 0.84	160 0.86	162 0.86	178 0.95	172 0.94	189 1.08
浪人	実数(人) 9 割合(%) 0.04	8 0.04	3 0.01	5 0.03	4 0.02	4 0.02	2 0.01	1 0.01	9 0.05	6 0.03
就職	実数(人) 16 割合(%) 0.08	23 0.11	19 0.09	22 0.11	17 0.09	11 0.06	17 0.09	9 0.05	15 0.08	24 0.14
その他	実数(人) 109 割合(%) 0.53	118 0.57	117 0.58	103 0.52	121 0.63	102 0.55	99 0.53	123 0.66	121 0.66	110 0.63

※「その他進学」とは専門・各種学校、海外留学、中等教育学校後期課程進学者
※「その他」とは家居・バイト等

表Ⅱ 公私立別・課程別・学科別の充足率推移

	公立全日制								公立定時制	公立計	私立高校
	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	特色学科	総合学科	全日計	定時制	公立計	私立高校
28年度	99.4	99.2	97.8	100.8	98.1	96.3	99.0	98.5	51.2	96.0	96.5
29年度	97.2	97.6	97.6	97.3	100.6	97.0	98.6	97.4	52.0	94.4	98.3
30年度	96.6	94.8	98.8	96.3	98.8	98.4	98.8	96.9	50.8	93.8	99.1
31年度	97.8	96.4	96.3	99.9	95.0	96.5	95.6	97.5	50.0	94.2	95.1
2年度	96.6	95.7	93.5	97.4	89.4	94.9	97.7	96.2	49.9	92.9	96.7
3年度	96.0	92.7	93.8	91.5	90.6	94.4	93.0	94.8	46.6	90.9	98.0
4年度	96.0	95.1	93.4	93.2	95.6	88.8	91.7	94.8	46.8	91.3	96.7
5年度	95.6	94.4	87.0	97.8	95.6	92.6	92.9	94.5	42.9	90.7	96.9
6年度	94.5	93.1	91.6	88.9	90.6	89.6	89.3	93.1	45.2	89.5	93.3
7年度	94.0	94.7	91.3	96.5	86.9	87.2	84.6	92.8	40.8	88.7	95.8

※表中の「白抜き」は平成28年度以降の最低値、網掛けは最高値を示す

高校入試トピックス

このページでは、6月に発表された公立高校入試の最新情報をまとめてお伝えします。

1. 令和7年度「後期選抜 学力検査の結果」について

今年3月11日に実施され、現在の高校1年生が受検した学力検査の平均点などが公表されました。それによりますと、全県で8,402人が受検して、下表の通り、前年の学力検査（現在の高校2年生が受検）よりも数学の平均点が10点近く上昇して、5教科合計では28点近く高い約302点となりました。

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語	合 計
令和6年度(A)	54.9 点	49.0 点	61.7 点	49.2 点	59.1 点	273.8 点
令和7年度(B)	59.5 点	58.5 点	70.0 点	54.4 点	59.2 点	301.6 点
得点差(B-A)	+4.6	+9.5	+8.3	+5.2	+0.1	+27.8
100 点の人数	2 人	8 人	45人	3 人	27人	—

特に英語については、後期選抜当日に実施される最後の教科となるので、その得点が合否に影響することもあります。最後の教科まで集中して実力発揮できるように、各教科の苦手領域を、受検までに克服しておく必要があります。

2. 令和8年度の「入学者選抜における学校別実施予定概要」について

各高校の入学者選抜について、課される内容が発表されました。下の表は、一部抜粋です。高校入試の情報については、右下のQRから見るができます。

〈表の見方〉

- ①「募集学級数」欄は、令和7年度の募集学級数。
- ②「面接」欄の○は「対面による面接」、△は「紙上面接」。
- ③「第2志望」欄に○がついている学科間においては相互に第2志望を認める。(第3志望まで認める高校もある。)
- ④ ↓ はくくり募集を行う学科。



学校別実施予定などの入試情報

令和8年度 公立高校入学者選抜日程

選 抜	内 容	日時・期間
前期	選 抜 実 施 日	令和8年2月 9日(月)
	入学予定者の発表	2月18日(水)
後期	志望変更受付期間	3月 2日(月)～5日(木)
	選 抜 実 施 日	3月10日(火)
	入学予定者の発表	3月19日(木)

1 全日制課程

学区	番号	高 校 名	学 科	募集 学級数	前期選抜(自己推薦型選抜)					後期選抜(一般選抜)					再募集(第2次募集)						
					志願理由 書(PRX)	面 接	学力検査	作 文 (小論文)	実技検査	志願理由 書(PRX)	面 接	作 文 (小論文)	実技検査	傾斜配点	第2志望	志願理由 書(PRX)	面 接	作 文 (小論文)	実技検査	傾斜配点	第2志望
1	3	飯 山	普 通	1	○	○	○				△				○		○				○
			自然科学探究	2	○	○	○				△				○		○				○
			人文科学探究																		
			スポーツ科学	1	○	○	○		○	○		○			○		○				
	4	下高井農林	農業 地域創造農学	2	○	○	○			○						○					
	5	中野立志館	総 合	5	○	○	○			○						○					
	7	中 野 西	普 通	4	○	○	○			△					○						
	9	須 坂 東	普 通	3	○	○	○			△					○						
	10	須 坂	普 通	6						△					○						
	11	須 坂 創 成	園芸農学	3	○	○	○				△				○		○				
			食品科学																		
			環境造園																		
			工業 創造工学	1	○	○	○			△					○		○				
			商業 商 業	2	○	○	○			△				○		○					
	12	北 部	普 通	2	○	○	○			○						○	○				

3. 令和8年度の「高校の学科改編」について

5ページに記載した通り、小諸高校と小諸商業高校が統合され、8年度から「小諸義塾高校」が開校します。また、探究的な学びをさらに推進するため、次の2校で令和8年4月1日から学科の改編を行うことが発表されました。

(1) 岡谷工業高等学校 全日制

【改編前】

大学科	小学科
工業科	機 械 科
	電 気 科
	環 境 化 学 科
	電 子 機 械 科
	情 報 技 術 科

【改編後】

小学科
機 械 工 学 科
電 気 工 学 科
電 子 機 械 科
情 報 技 術 科

(2) 上伊那農業高等学校 全日制

【改編前】

大学科	小学科
農業科	生 物 生 産 科
	生 命 探 究 科
	アグリデザイン科
	コミュニティデザイン科

【改編後】

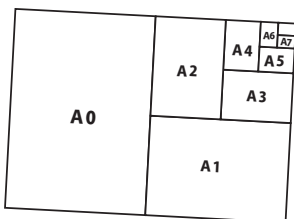
小学科
つくるマネジメント科
流通マネジメント科
くらしマネジメント科

これらの高校を志望する人は、学科・コースの特色などを調べ、今後の情報にも注目していきましょう。

ちょっと
一息

ざっかく パラダイス

数 学



コピー用紙のサイズの秘密

コピー用紙にはA判とB判の2種類があります。A判のサイズは、ドイツの科学者オストヴァルトが19世紀末に考案し、現在の国際規格になっています。このA判のコピー用紙の縦と横の辺の長さの比は $1:\sqrt{2}$ なのですが、なぜこのような比になっているのでしょうか。最初の長方形の長い辺の長さ $\sqrt{2}$ を半分にすると $\frac{\sqrt{2}}{2}$ となり、最初の短い辺の長さ1との比をとると、 $\frac{\sqrt{2}}{2}:1=\sqrt{2}:2=\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{2}}:\frac{2}{\sqrt{2}}=1:\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{2}}=1:\sqrt{2}$ となります。この比のすごいところは最初の長方形の長い辺を半分にして長方形をつくると、縦横の比率がまったく同じ $1:\sqrt{2}$ の長方形ができるということです。このようにして、A判の紙は半分にしていく度にA1、A2、A3、A4、A5と縦横の長さの比が同じまま、だんだんと小さくなっていくのです。

一方、B判の用紙は、日本で昔から使われてきた美濃紙のサイズに準じているそうです。驚くことにこのB判の紙も縦横の比率が $1:\sqrt{2}$ になっています。日本でも職人の発達した知恵が、紙の無駄を出さないこの形を生み出していたのですね。

(櫻井 弘紀・ゼミナール長野北本校)

国 語

日本語を面白くする 「オノマトペ」



だんだんと夏が近づいてきました。じめじめした梅雨、むしむしする夏、嫌な気持ちになりますが、お祭りや花火大会などわくわくする行事も多いですね。「じめじめ」「むしむし」「わくわく」などの言葉をオノマトペ(擬声語・擬態語)といいます。嫌な梅雨も、夏の暑さも、楽しい行事も、オノマトペを使うとより一層相手へと伝わります。

「わくわく」という言葉は、「水が湧く」「アイデアが湧く」の「湧く」が語源になっていると言われています。物事や感情が活発に動き出す様子を、音で表したものが「わくわく」になったと考えられています。ポジティブな感情が、まるで水が湧き出すように、次々と湧き上がってくるイメージです。それが繰り返されることで「わくわく」という、弾むような気持ちを表す擬態語になりました。

似た意味を持つ言葉で「うきうき」「そわそわ」「どきどき」などがありますが、どれも意味合いが違っていて、使い分けが必要です。いろいろな言葉を使って、日本語表現にちょっと彩りを加えてみてはいかがでしょうか？

(渡辺 唯・ゼミナール塩尻えんぱーく前校)

社 会



「土曜」じゃないよ!「土用」丑の日

日本では、暑い夏を乗り切るためにうなぎを食べる風習があります。中でも、7月の「土用丑の日」は特にうなぎが食される日でおなじみです。

そもそも「土用」とは、中国から伝わった季節の表し方のひとつで、立春、立夏、立秋、立冬の前のおよそ18日間をさします。また、「丑の日」は現在の日付を十二支で表したもので、昔は十二支を何周かさせて1か月を区切っていたことから、このような言い方をしています。うなぎを食べる習慣自体は、「万葉集」にも記録されており、おとものやかもち大伴家持が滋養強壮に効く食べ物として知人にうなぎを勧める歌が残っています。

土用丑の日は1年の中に何回かあるのですが、夏の土用丑の日が特に注目されるのはなぜでしょうか。有力なのが、江戸時代の化政文化のころ、蘭学者の平賀源内が、夏にうなぎが売れずに困っていたうなぎ屋に対し、「『夏の土用丑の日はうなぎの日』と宣伝すれば売れるのではないか」とアドバイスしたところ、それが大流行したという説です。

(山崎 圭介・ゼミナール小諸校)

中3生
対象夏の高校
入試説明会先輩たちは何点
とってたの？今のままで
志望校に
合格できる？

特典あり

イベント参加で
夏期講習申込金2,000円が
無料！夏期講習
特設ページ「今」,受験生に伝えたいこと
をすべてお話しします！参加
無料部活動が終わって受験モードに切り替えなければならない「今」,受験生に
伝えたいことをわかりやすくお話しします！ 詳細は各ゼミナールにお問い合わせ
させていただくか,夏期講習特設ページのイベントページをご覧ください。

内容 ① 長野県高校入試の概要 ～問題分析や合格ラインについて～

② 夏からの学習方法 ～志望校合格を勝ち取る勉強法～

※ゼミナール各校舎または特設会場で開催します。

中3生
対象

長野県高校入試学力テスト

夏休みの勉強の羅針盤！ 受験生としてスタートするきっかけに

部活から
受験勉強へ
切り替えよう！

第2回 6/29(日)

〈申し込みは6/25〆切〉

第3回 9 / 7 (日) 第6回 12 / 7 (日)

第4回 10 / 5 (日) 第7回 1 / 11 (日)

第5回 11 / 2 (日) 第8回 2 / 8 (日)

- 教 科 入試5教科(国・数・社・理・英)
- 会 場 信学会ゼミナール各校舎と
特設会場(飯山,伊那,駒ヶ根,
飯田,大町)
- 時 間 9:10～15:10
- 受験料 1回券 4,700円
回数券 30,800円(7回連続)
※割引対象者は30,200円
- 申し込み Webで受付



中1・2生対象

学力確認テスト

第1回 6/29(日)

〈申し込みは6/25〆切〉

第2回 11/30(日) 第3回 2/8(日)

各学期までの学習内容の
総復習と実力診断に。
高校受験へのステップに。

- 教 科 国語・数学・英語※Web成績表になります。
- 時 間 集合15:40 終了18:30
- 会 場 信学会ゼミナール各校(上諏訪駅前校を除く)
- 受験料 ◎1回券 3,300円 ◎3回券 9,600円

◎インターネットで,事前にお申し込みください。(クレジットカード決済) ※窓口受付は行いません。

- 中野校
- 屋代駅前校
- 穂高校

- 須坂駅前校
- 戸倉校
- イオン豊科校

- 長野北本校
- 上田駅前校
- 松本駅前校

- 県庁前校
- 小諸校
- 南松本校

- 長野駅東口校
- 長聖ゼミ
- 塩尻えんぱーく前校

- 稲里校
- 岩村田駅前校
- 茅野駅前校

- 篠ノ井駅前校
- 中込駅前校
- 上諏訪駅前校

夢中に、出会おう。

信学会

テストの詳細と申し込みはコチラ

☎ 0120-29-5588

信州での子育て、
学びを応援する
アプリマガジン。

まなびの庭